

コロナウイルス抗体検査 Q & A

Q. コロナ抗体検査にはどのような種類があるの？



A. 当院では、15分で抗体の有無が判定できる「迅速抗体検査」と、2～3日で結果が出る抗体値まで判る「精密抗体検査」があります。

Q. 迅速抗体検査では何がわかるの？



A. 抗体 (IgG※1&IgM※2) の有無が判ります。

過去にコロナウイルスに罹った可能性や、ワクチン接種後に一定期間が経過したあとなど、現在の抗体有無がわかります。

Q. どうして問診表にワクチン接種歴の記入や感染歴が必要ななの？



A. ワクチン接種により得た抗体と、コロナウイルスに感染してできた抗体の種類が異なるためです。

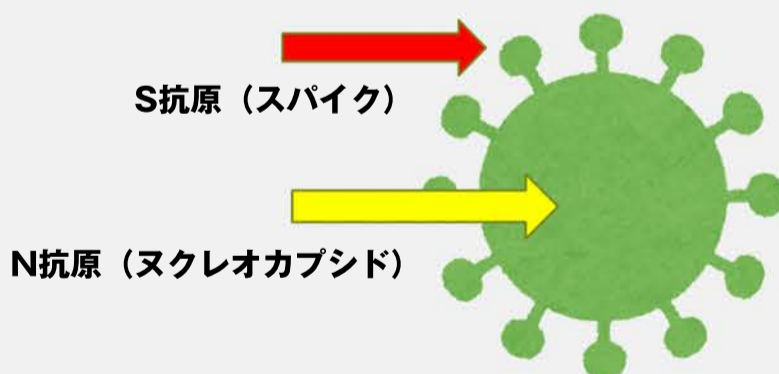


ワクチンの多くはS抗原※3に対する抗体であり、N抗原※4にアプローチしても、ワクチン効果の抗体値は見られません。



反対に、コロナに自然感染すると、ウイルスの大部分を占めるN抗原に対する抗体測定が有効です。

ワクチン接種歴、またはコロナウイルス感染歴を正しく記載してください。



※1 IgG 抗体

血中に最も多く存在し、強い中和作用などを有するとされる抗体。感染後IgMのあとに出現します

※2 IgM 抗体

異物が体内に侵入することで最初に生産され一定期間増加する抗体です

※3 S抗原

ウイルスの周りに無数に突き出した突起部分であり、細胞の受容体と結合することで感染が生じます

※4 N抗原

ウイルスの基本構造であり、ウイルスの性質に大きく影響するタンパク質で、コロナに感染した場合必ず現れる抗原です